

鶴ヶ峰連立News 【創刊号】



〜〜 相模鉄道本線の鶴ヶ峰駅付近で連続立体交差事業を進めます 〜

事業化に向けた手続きに着手！

横浜市では、現在事業中である相模鉄道本線の星川駅～天王町駅間の次の区間として、鶴ヶ峰駅付近（西谷駅～二俣川駅間）において連続立体交差事業の検討を進め、平成30年3月末に国から着工準備採択※されました。これから本格的に事業化に向けた手続き等を進めていきます。

また、手続きの進み具合を市民のみなさまに広く知っていただくため、今後、『鶴ヶ峰連立News』を定期的に発行していきます。

※「着工準備採択」とは…

国が円滑な事業進捗を後押しするため、事業化に向けた都市計画の手続き等を進めて良い事業として採択すること

鶴ヶ峰駅周辺地区の状況

踏切周辺の道路は踏切を起因とする慢性的な渋滞が発生しており、市民生活に支障をきたしています

慢性的な交通渋滞



【交通渋滞状況（鶴ヶ峰2号踏切）】

緊急車両が災害現場に向かう経路に「開かずの踏切」がある場合、長時間の交通遮断等により現場到着に時間を要する場合があります

緊急活動への影響



【交通渋滞状況（水道道）】

踏切で発生する事故は、尊い人命が失われるような重大な事故につながる危険性が高く、また、事故による影響も広範囲に及びます

踏切重大事故の発生



【踏切待ち状況（鶴ヶ峰5号踏切）】

鉄道によって地域が分断され、駅周辺は主要な生活拠点にふさわしい歩行者の回遊性や街並みの連続性等が確保されていない状況です

鉄道によるまちの分断



【鶴ヶ峰商店街】



踏切を起因とした課題が数多くあることから、連続的に鉄道を**高架化**または**地下化**することで、複数の踏切を一挙に無くすることができる『**連続立体交差事業**』が効果的！！

裏面も見てね！



事業の概要



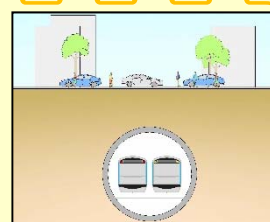
- 【事業区間】相模鉄道本線 鶴ヶ峰駅付近
(西谷駅～二俣川駅間)
- 【事業延長】約2.7km
- 【踏切除却数】10箇所
(うち開かずの踏切※5箇所)
- 【事業主体】横浜市

※「開かずの踏切」とは…
ピーク時間の遮断時間が
合計40分/時以上の踏切

構造形式

連続立体交差事業の構造形式は、一般的に「高架方式」と「地下方式」がありますが、鶴ヶ峰駅付近については、踏切除却数や周辺まちづくりへの寄与、地元要望、経済性などを総合的に評価した結果、横浜市としては『**地下方式**』を選定することにしました。

今後、国との協議を進め、決定していきます。



【地下方式イメージ】

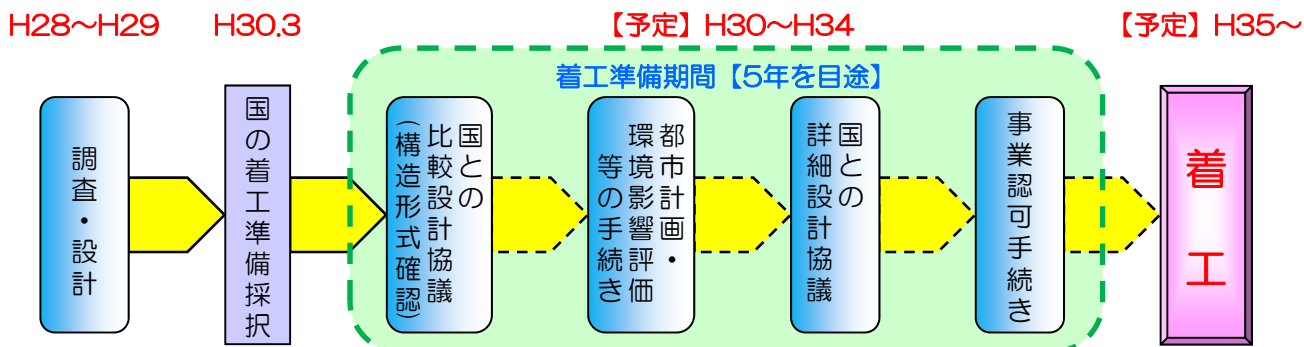
鶴ヶ峰駅北口周辺のまちづくり

鶴ヶ峰駅北口周辺では、より魅力的なまちづくりを進めていくため、『鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想』を作成し、地域住民・事業者・行政の3者が協力してまちづくりに取り組んでいます。

引き続き、連続立体交差事業とまちづくりが一体的に進められるよう、連携を図っていきます。

手続きの進め方

平成30年度から都市計画、環境影響評価等の手続きや国との協議を5年を目途に進めていきます。なお、手続きを進めていく中で、市民のみなさまのご意見を伺っていきます。



お問い合わせ先

横浜市 道路局 計画調整部 事業推進課 鉄道交差調整担当

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 (横浜関内ビル8階)

TEL : 045-671-2792 / FAX : 045-651-6527 / E-mail : do-tetsudou@city.yokohama.jp